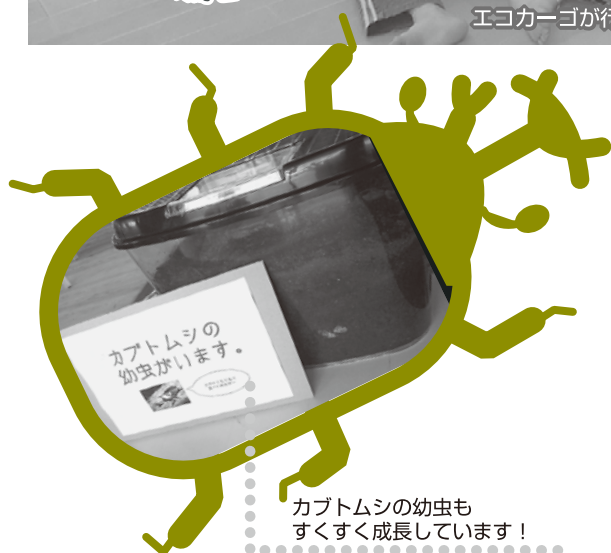


# てとて

—岩手県民の手と手をつなぎ、環境の輪を広げるために—



エコカーゴが行く！～滝沢学童保育クラブ外山のみなさん～



カブトムシの幼虫も  
すくすく成長しています！



スタッフ作の  
バルーンアート♪inクリスマス

2012年になりましたね。本誌「てとて」も、おかげさまで今回でNo.20という、節目を迎えました。

お読みいただいている皆さま、ありがとうございます。

今後も、どうぞよろしく願いいたします。

## Index

●センター情報

- ・展示
- ・訪問学習
- ・エコ×アート

●団体紹介

- 《大槌町》NPO法人 ぐるっと・おおつち
- 《紫波町》NPO法人 紫波みらい研究所

●県内イベント報告

●県内イベント情報

●新着図書が入りました

●特集コラム

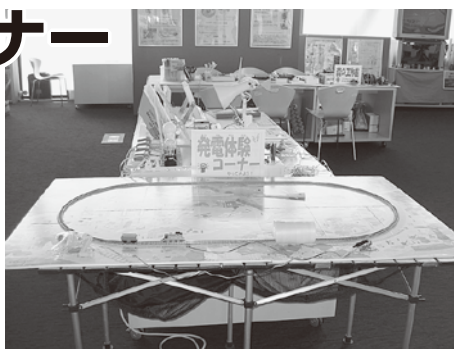
竹花悠さんのオーストラリア通信vol.3



## ◎展示

## 発電体験コーナー

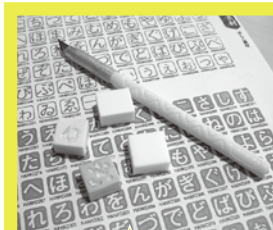
様々なエネルギーを体験できるコーナーで、常設展示となっています。なかでも手回し発電は大人気！白熱灯・LED・蛍光灯のエネルギー消費の違いが、分かるようになっていたので、ぜひ体験していただきたいです。今なら「きかんしゃトーマス」を走らせることができるコーナーも展開しています♪



△絵手紙スケッチ



△リサイクル切り紙



△ゴムはん

### たけうちさんの絵手紙スケッチ・リサイクル切り紙・ゴムはん講座

昨年12月まで環境学習交流センターで開催していた「ゆりかご広場」に代わり、平日講座の新企画として「たけうちさんの絵手紙スケッチ・リサイクル切り紙・ゴムはん講座」が1月17日（火）からスタートしました！

講師の武内和雄さんは、東日本大震災をきっかけに福島から岩手に移り住み、当センターで福島の様子などを土日環境学習講座で紹介していただいたのが縁で、この「エコ×アート」をテーマにした新企画にお手伝いいただくことになりました。

『武蔵野美術大学（通信制）卒』、そして『元中学校美術教師』という武内さんと、『元美術部部長』という経歴（？）を持つセンタースタッフ大石とがタッグを組んで企画を進めています。



◎**絵手紙スケッチ**は、基本として「もやし」と「いちご」の写生を三原色（赤・青・黄）の絵の具を使って行います。

◎**リサイクル切り紙**は、ポスターの裏紙を使った「金魚」のイラストをカッターで切抜き、なおかつ切り抜かれて穴の開いた残り紙も再利用し、ステンシルのように、絵の具とブラシをつかったスプレー画法のシルエットの作品を作ります。

◎**ゴムはん講座**は、自分の名前の印刻を消しゴムで製作し、完成した絵手紙作品に印を押して、自分の作品としての完成度を高めます。

まずは3回の講座で3種類の基本編を学び、そこからは、自分でスケッチの課題を持参するなどして、応用編に入っていきます。

講師の武内さんは中学校の先生だったので、とっても分かりやすい説明で丁寧に指導してくれます。「美術は、まず、何よりも楽しむことから始めて欲しい。」というモットーで、道具一式もすべて準備してありますので、参加するときの持ち物は一切必要ありません。

受講された参加者からは、「集中できて楽しかった」「何十年ぶりに筆と絵の具を使って懐かしかった」「スケッチで観察していたら面白い発見があった」などという大変なご好評をいただいております。

今後は、毎週火曜日の午前中（10：30～12：00）に定期開催していきます。ぜひ、興味のある方は、お気軽に一度足をお運びください。心よりお待ちしております。

byセンタースタッフ「大石、こと光（ひかる）」

## 訪問学習の受け入れを行っています

環境学習交流センターでは、受動的な学習ではなく、自発的に考え、気づくことを大切にしています。年齢や目的、時間に合わせた様々なプログラムで、実際に体験しながら楽しく学ぶことができます。

小・中学校はもちろん、大学や子ども会行事、また公民館などの一般の方にもご利用いただけます。

### 紫波町立上平沢小学校5年生

エネルギーを中心とした学習プログラムで、岩手県地球温暖化防止活動推進員の梅野克雄さんの講話と、「もてるかな?～エネルギーのかばん～」を体験しました。

「もてるかな?～エネルギーのかばん～」とは、アメリカ、中国、日本で1人一日あたりどれくらいエネルギーを消費しているかを、重さで表したプログラムです。

ヒントを頼りに、まずは持って体験します。「重いー!」「軽～い♪」と大盛り上がり。重さを感じたところで、これは何の重さなのか、それぞれどの国で何kgあるのか…、みんなで考えました。正解を知ると、日本のかばんは重いのか軽いのか、さらに考えます。自分たちに出来ること、改善したいことなどを、しっかり話してくれました。

梅野さんの講話では、太陽光パネルや水力発電、また地熱発電やバイオマス発電など、身近な新エネルギーについてお話していただきました。これからのエネルギーについて、みんな興味深く聞いていました。



### ☆たくさんの団体にご利用いただきました☆

- ・陸前高田市立横田小学校
- ・盛岡市立大新小学校
- ・宮古市立門馬小学校
- ・矢巾町立徳田小学校
- ・紫波町立上平沢小学校
- ・岩手県立盛岡青松支援学校
- ・中屋敷子ども会
- ・盛岡市立緑が丘小学校
- ・盛岡市立仙北小学校
- ・温泉子ども会4班
- ・名須川町子ども会
- ・一方井公民館
- ・長田町第2子ども会
- ・岩手県立大学 総合政策学部

# 団体紹介

NPO法人

(大槌町)

## まちづくり・ぐるっとおおつち

NPO法人「まちづくり・ぐるっとおおつち」は平成13年7月に大槌町の有志により設立され、「どんな小さなことでもしよう」を合言葉に活動してきました。

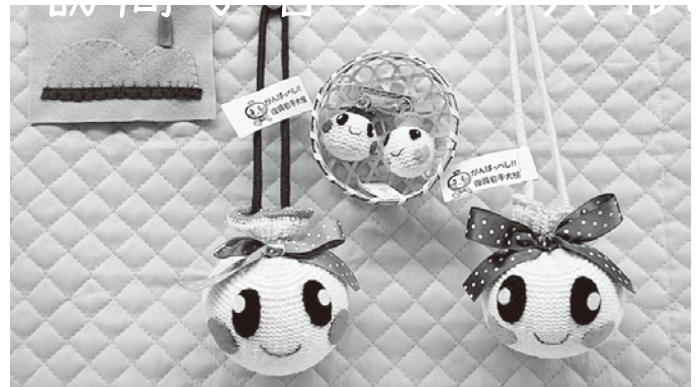
これまで町の交流促進センターの管理運営、環境保全などを行ってきましたが、東日本大震災で事務所は被災、理事や会員も犠牲となりました。

しかし自分達の町の復興のためにと、活動を再開し、現在力を入れているのは大槌町のご当地キャラクターである「おおちゃん・こづちちゃん」人形の製作・販売です。

仮設に住む主に主婦の方々が製作することで、被災者の収入源となるほか、人形の講習会を開くことによりコミュニケーションの場が生まれたり、手を動かすことで気分転換になったりといった声も聞かれ、様々なメリットを生み出しています。

また、キッチンカーで温かい食べ物を店舗の無い地域で販売したり、野菜の産直販売をしたりと、様々な形で町の人々に貢献し、新たなまちづくりへと進んでいます。

【お問合せ】 上閉伊郡大槌町大槌15-95-179  
(TEL) 0193-55-5221



▲おおちゃん・こづちちゃん人形

▼キッチンカー



NPO法人

## 紫波みらい研究所 (紫波町)

NPO法人紫波みらい研究所は、平成13年に「百年後の子どもたちによりよい紫波を残す」という未来づくりをするために設立しました。

地元の食材を地元で消費することによって、自分たちの暮らし方や地域のあり方を見直すために活動している「食話倶楽部」、地元に住んでいる人が地元を見つめなおし、紫波町の魅力を再発見するために活動している「またあした倶楽部」、木のある暮らしの豊かさや森林の素晴らしさを伝えたいと活動している「山と森倶楽部」。

この3つの倶楽部が中心となり、子どもたちに環境の大切さを知ってもらうための「環境探検隊」、東京の大学と地元住民の交流を目的に開催している「里山づくりプロジェクト」、また植樹や観察会を行っている「平成の森～動物と共生する森を創ろう～」などの事業を毎年開催しています。

昨年度からは、地元子育て団体や個人の協力を得て、森のようちえん「りんくる」事業の取り組みを始めました。これからも次の世代、その次の世代の子どもたちに、よりよい紫波を引き継いでいきたいと考えています。

【お問合せ】 紫波郡紫波町紫波中央駅前一丁目2-2  
紫波町環境・循環PRセンター内  
(TEL) 019-671-2244



▲森のようちえん「りんくる」

▼平和の森～動物と共生する森を創ろう～



# 県内のイベント報告

## 三陸エコビジョンフォーラム2011

# 三陸の自然と共に生きる里づくり

日時：平成23年

○12月10日(土)  
10:00~17:30

○12月11日(日)  
10:00~15:30

場所：遠野市民センター  
あえりあ遠野  
遠野市立図書館



11月のプレフォーラムを経て開催された本フォーラムは、2日間に渡って行われました。

このフォーラムは、毎回様々な分野の専門家や実践者を招き、持続可能なまちづくりを考える場として開催されてきました。本フォーラムでも、三陸の海や復興を想う、たくさんの方が来場されました。

リレートークやパネルディスカッションの他に、映画上映会や分科会もあり、多角的な視点を持つきっかけになったように思います。まちづくりの一つでもある産業（漁業）について、ただ魚を売るだけではなく、この魚はどんな

料理に合うとか、近所のお魚屋さんのような+αが必要ではないか、というお話がありました。

例えばバーコードを読み取ると、生産者や調理法がわかるシステムの開発も実験的に行われているようで、現代に合った技術として見直すことも出来るんだな、と思いました。

開催地の遠野は、沿岸と内陸を結ぶ架け橋のような場所なんだと、改めて感じました。内陸からも、自分ができることを、細くとも長く続けていきたいと思いました。

## 県内のイベント情報

○イベントの詳細については、それぞれの団体へお問合せください。

### ① 網張の森・親子で自然発見、自然体験

【日時】3月24日(土)  
10:00~12:00  
【参加料】大人 500円  
小学生 300円  
【集合場所】網張ビジターセンター  
【定員】20名

### ② 残雪の鎌倉森探勝観察会(山頂往復)

【日時】4月7日(土)  
9:00~14:30  
【予備日】4月8日(日)  
【参加料】大人 800円  
小学生 600円  
(温泉入浴料含)  
【集合場所】網張ビジターセンター  
【定員】30名

### ③ 早春の網張の森自然観察会

【日時】4月21日(土)  
10:00~14:30  
【参加料】大人 800円  
小学生 600円  
(温泉入浴料含)  
【集合場所】網張ビジターセンター  
【定員】30名

### ④ 網張の森ミニ自然観察会

【日時】3月25日(日)  
4月28日(日)~5月6日(日)  
※行事日を除く  
10:00~、13:00~(各1時間程度)  
【参加料】300円(小学生以上)  
【集合場所】網張ビジターセンター  
【定員】各20名

### ⑤ 御所湖冬鳥観察会

【日時】3月18日(日)  
10:00~12:00  
【集合場所】御所湖広域公園内 野菊公園  
※予約不要、参加料無料

### ●お問合せ●

①~④ 網張ビジターセンター  
TEL: 019-693-3777  
FAX: 019-693-3778  
⑤ 岩手県滝沢森林公園  
野鳥観察の森 ネイチャーセンター  
TEL/FAX 019-688-5522

○環境イベントの情報をお持ちの方は、環境学習交流センターまでお知らせください。チラシやポスター等も掲示させていただきます。

## 新着図書が入りました!!

環境学習交流センターでは、環境に関する図書の貸出をしています。この度、新着図書32冊とDVD8本が仲間入りしました!

話題の飯田哲也さんの本や、子供向けの図鑑や絵本など、バラエティに富んだラインナップとなっております。1人5冊まで、2週間借りられます。貸出には、アイナカード(3F総合案内で即日発行できます)が必要ですので、ご注意ください。

また、館内閲覧用として、資料も充実!さらに、雑誌の定期購読も行っています!「環境ビジネス」、「エココロ」、「環境会議」、「サステコ」、「エコmam」、「ソトコト」、「オルタナ」を取り寄せております。

何と!近々、再び新着図書が入る予定です☆ぜひ環境学習交流センターでお確かめください(^ ^)

図書の検索、詳細、スタッフおススメの図書紹介などはHPをご覧ください。

<http://www.iwate-eco.jp/study/books.html>



竹花 悠さんの  
オーストラリア  
通信

Vol.3



家庭用ゴミ箱。サイズが大きいので、簡単に移動できるように底にローラーが付いている。

さっそくですが、みなさんに質問です。「ごみ分別、あなたの地域では何種類に分別しているかわかりますか？」  
だいたい地域では、可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみに分けられていると思いますが、資源ごみといっても、缶、ビン、プラスチック類、古紙など、さらに分別があります。関東の方では、もっと細かく分別しているところもありますね。

オーストラリアではどうでしょう？大自然の国ですので自然保護に対する意識は高いようですが、ごみ分別に関してはそれほど強くないと感じました。分別は、主に可燃ごみと不燃ごみの2つだけです。そこで今回は、オーストラリアのごみ処理について考えてみましょう。

オーストラリアでは、家庭用ゴミ箱を週に1回（不燃ごみは2週間に1回）のごみ収集の前夜に、近くの道路脇に並べておきます。日本のごみ収集といえば、2、3人が収集車に放り投げていた光景を思い浮かべるとは思いますが、オーストラリアでは全部機械が行います。

収集車にアームのようなものが取り付けられてあり、路肩

のごみ箱をはさみ上げ、ひっくり返します。ビンや缶も同じように豪快に収集するので、朝からものすごい音が鳴り響きます。

集められたごみは、96%が埋め立てられ、1%が焼却、3%がリサイクルです。リサイクルの割合は、近年増加傾向にありますが、まだまだ日本や他国に比べれば少ないです。これほど高い割合でごみが埋め立てられるというのも、国土の広大なオーストラリアならではのですね。

ただ、ごみが埋め立てられると、分別の意識も薄れ、ごみの山やごみ処理場を目にすることがないので、「ごみを減らそう！」という意識も薄れているのではないかと思います。

オーストラリアは、移民や観光客、留学生がとても多い国です。様々な人が生活する中でも、ごみ分別やごみを減らそうという意識は、国ではもちろんのこと、個々でもしっかりと持たなければなりません。

比較的リサイクル率の高い日本ではありませんが、もう一度、自分はしっかりと分別しているのか、ごみとして出す前にまだ使えるものはないのか？と見直してみるのもいいのではないのでしょうか。



ごみの分別を意識させるように各家庭に配られた啓発のチラシ。

●貸出物をご利用ください●

環境学習交流センターは、地球温暖化をはじめ環境問題に関するパネルや紙芝居、様々な発電を体験できる実験キットなどを貸し出しております。環境に関するイベントや、学校での環境学習などにお役

立て下さい。

申込方法など詳しい情報は、当センターまでお問合せ下さい。また、センターのホームページでも紹介しております。

センター通信 スタッフのつぶやき

表紙のカブトムシの幼虫は、実は、夏にいた成虫が生んだ卵から育てているものなんです。その成長に、「豆粒より小さかったのに…」と、「生命」を感じて何だか感激しました。夏に会えるのが楽しみです。(H)

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイナ5F  
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail : eco@aiina.jp

<http://www.aiina.jp/environment/>

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。